

日々はつらつ

「新茶まつり」が開催されました

特別養護老人ホームあかいしの郷

5月11日、あかいしの郷で今年の新茶を楽しむ「新茶まつり」が開催されました。

この催しは、施設を利用してあるみなさんに、職員がその年の新茶をふるまったのが始まりで、昨年は職員が茶娘に扮して行われました。

そうしたところ、茶娘の格好が大変好評で、「来年はぜひ唄や踊りも見たい」との声があがり、職員一同が一念発起。

青部の方から踊りを習い、仕事が終わったあと、練習を重ねていきました。

当日は、ベテランから新人さんまで総勢7人の職員が茶娘に変身。笑顔もまぶしく、にぎやかな「新ちゃつきり節」の踊りを披露しました。

施設を利用してあるみなさんは、踊りに合わせて揃って手拍子。職員全員の真心がこもった「もてなし」の中、おもしろい新茶を心ゆくまで楽しんでいました。

「特養老人ホームというところ、どうしても雰囲気や暗い感じがするけど、全然そんなことはないんですよ。気軽に利用できるし、楽しい催しもたくさん考えています。良いイメージを定着していけたら嬉しいですね」と職員の大嶋さんは話していました。

地域に密着した行事、地域を元気にするイベント等、「こっちゃんも写真を撮りに来て！」を募集します。催しの内容や日時、代表者の氏名、連絡先を役場広報担当までお知らせください。お待ちしております。



練習の成果です 良い笑顔！



手拍子で盛り上がる館内



「今年の新茶ですよ」と茶娘さんがお茶を手渡すと、「ありがとうございます」と、嬉しそうに味わっていました。



件名 : 編集後記

先日、バドミントンの世界大会（東京）を観てきました。私はバドミントンを「人生の一部」と言い切るほど好きなのですが、各国の代表選手たちは「俺には人生の全てだ」と背中や腕で語っているみたいで凄まじかったです。オガサワラです。

5月1日、初めて手掛けた広報の発行日。予想に反してあちこちから電話やメールが。「見たよ。頑張ったね」、「すごく変わったじゃん!」、「字が大きくなったんじゃない?」、「役場職員名簿が違ってるよ」・・・ああ、やってしまった・・・。しかし、予想よりは良い反応?です。お叱りの電話が来るかと内心ビクビクしていたので、みなさんの温かい言葉に勇気づけられました。励ましの声や募集記事の依頼、取材の依頼、ご意見ハガキなど、町民の方の声をたくさんもらいました。そういった「反応」が返ってくるのが「嬉しい」と思わせてくれた1日でした。今後も、みなさんの「声」を随時お待ちしております。未だ、カメラやパソコンなどあらゆる技術が不足しているため、收拾がつかなくならないよう祈りながら。。

今月号では、「都市部からの農村体験」の話題を2つご紹介しました。結構いるんですね、農村に来てみたいって人。どの人もみんな元気です。少し分けてくれないかな・・・。

来月（7月）号では、「森と湖に親しむ集い」の関連イベントを特集する予定です、お楽しみに。 小笠原聡